ジャマイカ政治・経済月間情勢（８月）

【要旨】

　内政において、災害対応体制を強化するための委員会が設置されることが発表された。さらに、クラレンドンにて8人死者を出した大量殺人事件が発生し、14日には、情報提供の懸賞金をして2500万ドルが提示され、緊急事態宣言（ＳＯＥ）も発令された。外交においては、ナイジェル・クラーク財務・公共サービス大臣の国際通貨基金（ＩＭＦ）の副専務理事への就任が発表された。また、米国の渡航勧告が改訂されたことにより、ジャマイカへの旅行者に対して、安全性と体験の質について安心感を与えることとなった。

1. 内政
2. 災害対策委員会の設立

アンドリュー・ホルネス首相は、ジャマイカの災害対応体制を強化するための対策を提言する委員会がまもなく設立されると述べた。ホルネス首相は、政府がハリケーン・ベリル復興支援のために50億ドル以上を確保していることを国民に伝えた。一方メッセージの中で、ますます強力になるであろう暴風雨等、気候変動が島国に与える影響について注意を促した。首相は、政府は潜在的な影響に耐えるための国の回復力を高めてきたと述べた。（7日付　ネイションワイド・ニュースネットワーク）

1. クラレンドン虐殺事件：2500万ドルの懸賞金が提示される

非常事態宣言の発令も

14日の水曜日、ジャマイカ政府は、12日に発生し、8人の死者を出したクラレンドンでの大量殺人事件の首謀者の逮捕と有罪判決につながる有力な情報に対して、2500万ジャマイカドルの懸賞金を提示した。これはジャマイカ史上最大の懸賞金となる。ジャマイカ・ハウスで演説したアンドリュー・ホルネス首相は、2500万ジャマイカドルの基金は捜査のペースを早めるために設立されたと述べた。クラレンドンでの虐殺事件を受けて、非常事態宣言も発令された。ホイレス・チャン国家安全保障大臣は記者会見で同発令を発表。この宣言は、憲法の規定に従い、14日間有効となり、延長する場合は、議会の承認が必要となる。チャン大臣は、この措置を支持する理由として、報復を防止し、報復へ対抗することが極めて重要であると述べた。（14日付　ＲＪＲオンラインニュース）

1. 外交
2. クラーク財務大臣のIMFへの転職　新財務大臣の指名

アンドリュー・ホネス首相は、ナイジェル・クラーク財務・公共サービス大臣が10月に国際通貨基金（IMF）の副専務理事に就任することが発表されたことを受け、次の財務大臣となる者を指名したと述べた。ホルネス首相は次期財務大臣の氏名を明らかにしなかったが、ナイジェル・クラーク大臣の後継者が指名されていることにより、円滑な移行が行われると宣言した。

さらに、今後、順次最新情報が提供される予定であり、政策の継続性と経済的実績の継続が期待できると述べた。ホルネス首相はクラーク氏を祝福し、これは歴史的かつ重要な出来事であり、ジャマイカ、カリブ海、中米の市民がIMFでこのレベルの職務に就いたことは、80年の歴史の中でこれまで一度もなかったと述べ、大きな誇りを感じていると語った。また、ジャマイカ国民の一人がこのような重要な国際的な地位に就くことは、ジャマイカとカリブ海地域にとって有益であると述べた。（26日付　グリーナー紙）

1. 米国の渡航勧告がジャマイカに有利に変化

ジャマイカ発展への取り組みは、米国国務省のジャマイカに対する渡航勧告の最新改訂にも反映されました。 微妙な差異ではあるものの、この改訂により、将来のジャマイカへの旅行者に対して、その安全性と体験の質について安心感を与えることになる。ジャマイカの公共部門と民間部門の関係者は、ジャマイカを訪れる観光客に、よりバランスのとれた説明を行うために熱心に取り組んできた。観光客の42%がリピーターであるジャマイカは、カリブ海諸国の中で最もリピーター率の高い国である。観光省と国家安全保障省は、観光客に対する犯罪発生率が0.01%以下と非常に低いことを示す説得力のあるデータに加え、重大犯罪の発生率が大幅に減少していることも示した。ジャマイカでは2023年に犯罪発生率が7%減少し、23年ぶりに犯罪発生率が最低値を記録した。2024年も継続的な努力の結果、重大犯罪はさらに14.9%減少した。

（26日付　オブザーバー紙）